

『がん検診へ行こう！』

9月は「がん征圧月間」です



幸せな毎日をごすすために、健康維持は欠かせません。年に一回は、必ずがん検診を受けましょう。
昨年、市のがん検診を受診された市民の方からお手紙をいただきましたのでご紹介します。

「大腸がんステージ2です」と告げられた時、ショックで何も考えられない状態でした。元氣だけが取り柄だと自負していたので、検診の案内などを見かけてもそのまま放置していました。今から考えると虫の知らせなのか、昨年は何気なく検診の案内が目につき、初めて市の大腸がん検診を受けてみました。結果、精密検査の必要ありとの連絡がありました。潜血が出ては必ずしもがんとは限らないと聞いていたので、軽い気持ちで精密検査を受けました。不安な気持ちで入院し、手術を受け、つらい入院生活でしたが順調に回復し、今は元氣に以前と同じように生活しています。あの時、検診を受けずにそのまま過ごしていたら、と考えると怖くなります。毎年検診を受けていたら、もっと簡単に切除できていたのにと反省もしています。今はまわりの人に、大丈夫だと思っけていても検診を受けるようにと勧められています。そして、日々楽しく生活できていることに感謝しています。
(65歳・女性)

早期発見・早期治療でいまや「がん」は治る病変に



現在、日本人の2人に1人が「がん」になる時代です。この機会に「がん」に対する正しい知識を身につけましょう！

●早期がんなら完治する

「がん」になったら治療は難しいのでしょうか？ 答えはノーです。早期に見つけることができれば治療により9割以上治ると言われています。

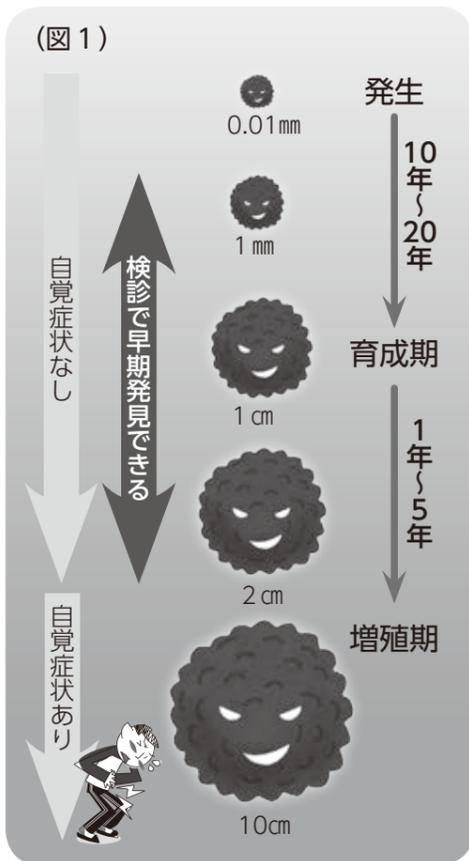
●がんを早期に見つけるためには？

「がん」が発生してから1cm位になるまでは10年から20年かかりますが、その後は「がん」

の成長が早くなり数年で進行がなになります。定期的ながん検診を受けることで早期の発見が可能です。
(図1)

●検診結果で要精密検査と聞かれたら？

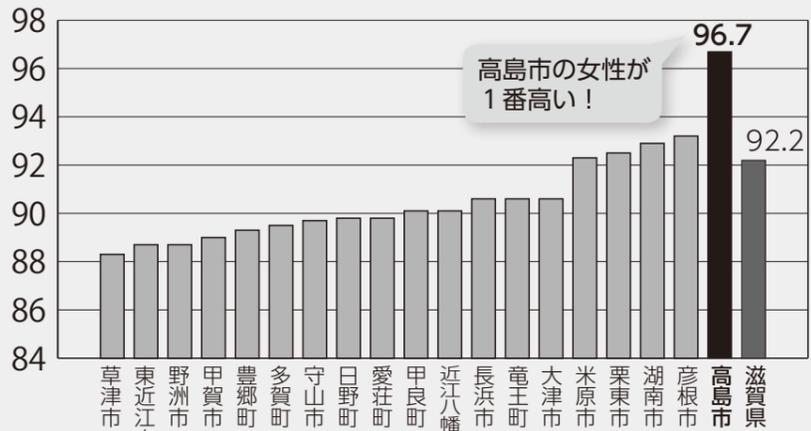
市のがん検診を受診し「要精密検査」と診断された方は、さらに病院で詳しい検査を受ける必要があります。



年一回の検診で一年間の安心を！

大腸がんにかかる人が増えていることを知っていますか？ 全国のがんによる死亡数のうち、女性は大腸がんが第1位、男性は第3位です。市でも女性のがん死亡数のうち、大腸がんが一番多いのです。(図2)

(図2) 滋賀県大腸がん(女性) EBSMR



EBSMRとは、年齢構成が異なる地域間において、死亡状況を比較することが可能になる指標です。(出典：滋賀県衛生科学センター 2005年～2014年)

●大腸がんで亡くなるリスクって高いの？

大腸がんは、早期に発見できれば9割以上が完治します。検診を受ける人が増えればがんで亡くなる人を減らすことができます。



●早期の大腸がんは自覚症状ってあるの？

大腸がんは、早期の段階でほとんどの自覚症状がありません。

●大腸がん検診って何するの？

便を取って、血液が便に混じっていないかを調べる検査です。便の採取は家で簡単に行うことができます。

●大腸がん検診で、便に血が混じっていたら？

大腸がんやポリープがある場合、便が腸を移動する時に血液が付きまします。便に血液が混じっていたらできるだけ早く詳しい検査を受けることが大切です。

健康推進課

☎(25) 8078

高島市民病院 患者相談支援室が開設されました

がん検診の結果、要精密検査と言われた方で「何科に受診したらいいの?」「どんな検査を受けたらいいの?」など、分からないことがあれば、専門のスタッフに相談することができます。

また、がんと診断された方へのトータルサポートも行っています。

☎地域医療連携室 患者相談支援センター (健診棟1階)

☎(36) 0220 (代)



がん患者サロン「ほっと湖西」

がんと診断されて1人で悩んでいませんか? 「ほっと湖西」は、がん患者さんや家族の方など、同じ立場の人がお互いを支え合う場です。ご本人とご家族であればどなたでも参加できます。

▼開催日程 毎月第2火曜日 13時30分～15時30分

次の月はイベントを開催します。

9月 「口腔トラブルとケア」 歯科衛生士

11月 「アロママッサージ」 外部講師

1月 「皮膚や爪のトラブルとケア」 認定看護師

▼場所 高島市民病院 健診棟3階 小会議室

▼参加費 無料 ※事前予約は必要ありません。

